

## 福島第二原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和6年12月16日（月）

### 2 確認箇所

- ・4号機原子炉建屋
- ・サイトバンカ建屋

### 3 確認項目

使用済制御棒移送状況等

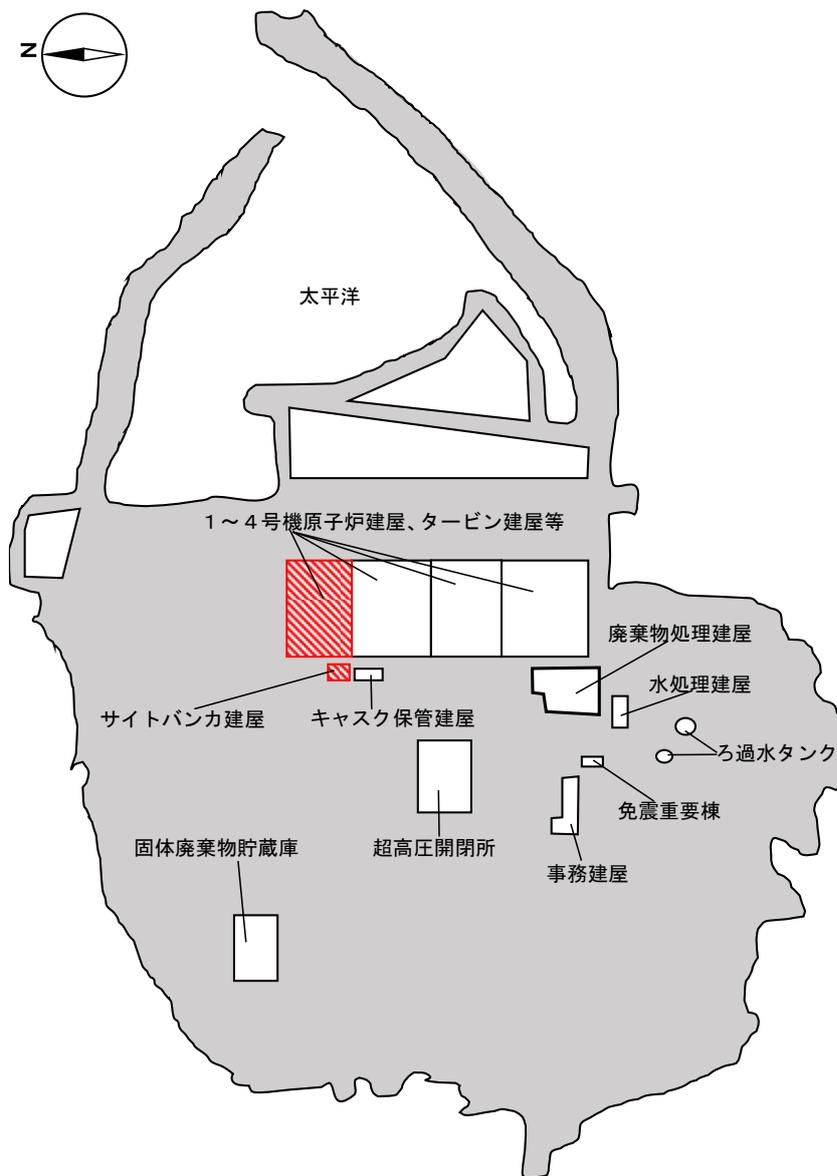
### 4 確認結果の概要

福島第二原子力発電所は現在廃止措置中であり、1号機から4号機までの全ての原子炉は停止している。一方で、熱と放射線の発生が続く使用済燃料や高線量の使用済制御棒を使用済燃料プール内で保管している。

東京電力は、使用済燃料搬出に向けた準備作業として、使用済制御棒をサイトバンカ建屋内プールへ移送する作業を、令和6年7月25日から実施している。

今回は、4号機原子炉建屋およびサイトバンカ建屋において、使用済制御棒の移送状況および保管状況を確認した。

- ・4号機原子炉建屋のオペレーティングフロア（屋上階）で、使用済制御棒の搬出手順を確認した。併せて、移送対象の使用済制御棒の保管状況を確認した。使用済制御棒はプール内の制御棒ハンガーに吊されており、保管状況に異常は認められなかった。
- ・サイトバンカ建屋内で、使用済制御棒の受け入れ手順を確認した。併せて移送後の使用済制御棒の保管状況を確認した。使用済制御棒はプール内の制御棒ラックに入れられており、保管状況に異常は認められなかった。
- ・使用済制御棒を保管しているいずれのプールも所定の水位が確保されていた。また、プール脇における空間線量率は平常値であった。
- ・サイトバンカ建屋内で仮保管されている輸送容器を確認した。輸送容器の機能に影響を及ぼす恐れのある、傷、へこみ等の異常は認められなかった。
- ・東京電力によると、令和6年10月22日にサイトバンカ建屋内に設置しているクレーンに不具合が発生したため、現在は、使用済制御棒の移送を一時停止し、不具合の原因調査と対策の検討を行っているとのこと。



(図1) 福島第二原子力発電所構内概略図